



プレスリリース

LINK, INC.

No. BM260115-01

2026年1月15日

株式会社リンク

「ベアメール 迷惑メールスコアリング」にて

BIMI 導入支援パッケージを提供開始

～～BIMI 導入の障壁となる DMARC ポリシー強化から、専門チームが伴走支援～～

株式会社リンク（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田 元治）は、メールの健全性を診断・モニタリングするサービス「ベアメール 迷惑メールスコアリング」において、メール上でのブランドロゴ表示を実現する「BIMI 導入支援パッケージ」の提供を開始します。

企業を装ったメールによるフィッシング詐欺は年々増加しています。フィッシング対策協議会の発表によると、2024年のフィッシングに関する報告件数は1,718,036件（※）を記録し、前年と比べ44%増加しました。この数値が示すように、企業を騙るフィッシングメールが横行し、個人情報の不正取得や金銭被害のリスクが高まっています。その影響で受信者の警戒心が高まり、正規のメールであっても開封されにくくなるという、企業にとって看過できない状況が生じています。

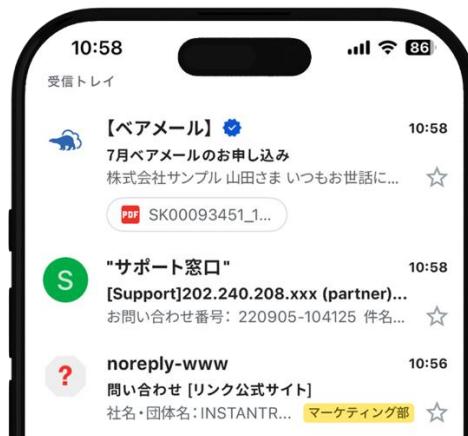
※参考：フィッシング対策協議会「フィッシングレポート 2025」https://www.antiphishing.jp/report/phishing_report_2025.pdf

こうした状況への対策として注目されているのが、メールに企業の公式ロゴを表示できるBIMI（Brand Indicators for Message Identification）です。BIMIは、正規の送信元であることを視覚的に伝えられるため、受信者の安心感を高め、メールの開封率やエンゲージメント率を高める効果が期待できます。

BIMI なし



BIMI あり



しかし、BIMI 導入の前提条件となる DMARC ポリシー（※）の強化が、多くの企業にとって大きなハードルとなっています。正規メールの不達リスクを抑えつつ DMARC ポリシーを強化するには、DMARC レポートを継続的に分析し、SPF や DKIM の設定不備や送信環境の問題を順次解消していく必要があります。これらの対応には高度な専門知識が不可欠なうえ、半年以上の期間を要することも多く、企業にとって大きな負担となっています。

※DMARC ポリシー：DMARC 認証に失敗したメールを、受信側がどのように取り扱うべきかを指示するもの。ポリシーのレベルは監視・隔離・拒否の 3 段階があり、隔離や拒否に強化することで自社を装った不正なメールの受信を防止できる。一方、設定や認証に不備があると正規メールも失敗扱いとなり、迷惑メール扱いや不達につながるため、段階的な引き上げが推奨される。

この課題を解決するため、ベアメールでは、DMARC ポリシー強化から BIMI 導入までを一貫してサポートする「BIMI 導入支援パッケージ」の提供を開始します。

本パッケージは、「ベアメール 迷惑メールスコアリング DMARC 分析機能」「プレミアムサポート」「BIMI/VMC マネージドサービス」の 3 つで構成され、BIMI 導入に必要な準備から運用までを包括的にカバーします。

これにより、専門知識や運用リソースが不足している企業であっても、専門家による技術支援を受けながら、DMARC ポリシー強化を安全かつ確実に進めることができます。BIMI の導入にあたっては、VMC（※）証明書の取得から管理・更新、導入後の運用まで継続的な支援を受けられるため、企業ロゴを受信トレイ上に安定して表示でき、ブランドの信頼性向上につなげることができます。

※VMC (Verified Mark Certificate)：ロゴの正当性を第三者機関が証明する電子証明書。BIMI でロゴを表示するために必要。

■BIMI 導入支援パッケージ

- DMARC 分析機能
受信した DMARC レポートを自動的に集計、グラフや表として可視化することで、簡単にレポートを分析できるツールを提供します。
- プレミアムサポート
DMARC 分析機能を活用したレポートの分析代行をはじめ、送信ドメイン認証を成功させるための技術支援、DMARC ポリシー強化のための計画の策定をサポート。さらに、メール不達の原因調査や改善方法のアドバイス、月次の定例会による進捗確認・課題整理を通じて、DMARC 運用とポリシー強化を支援します。
- BIMI/VMC マネージドサービス
BIMI 導入に向けた計画策定を支援するとともに、ロゴの SVG（※）変換、VMC 証明書の取得・更新に関する各種手続きを代行します。さらに BIMI 導入後も、ロゴ表示の確認やトラブル発生時の対処、追加ドメインの設定など、運用のサポートを継続的に行います。

※SVG (Scalable Vector Graphics)：拡大縮小しても画質が劣化しない、ベクター形式の画像。BIMI で表示するブランドロゴは、厳密な要件を満たした SVG 形式にする必要がある。

■ 「BIMI 導入支援パッケージ」内容

メニュー	初期費用	月間利用料	備考
DMARC 分析機能	¥50,000	¥24,000～	月間利用料は、選択するプランやドメイン数によって異なります
プレミアムサポート	—	¥100,000	—
BIMI/VMC マネージドサービス	—	¥15,000	管理対象の証明書数・ロゴ数に上限はありません
VMC 証明書費用	¥243,700	—	1 ドメイン・1 ロゴあたり

※VMC 証明書費用は認証局の定価に基づくため、価格が変動する場合があります。

※本パッケージの最低利用期間は1年間です。

※「BIMI/VMC マネージドサービス」は、当社から VMC 証明書を提供している期間中、継続が必要です。

ベアメールは、今後も送信ドメイン認証や DMARC 運用、BIMI の活用支援を通じて、企業のブランド価値を守り、信頼されるメールコミュニケーションの実現を支援してまいります。

迷惑メールスコアリングについて

「ベアメール 迷惑メールスコアリング」は、送信メールの健全性をチェックし、継続的なモニタリングを実現するサービスです。ユーザはテストメールを送信するだけで診断を受けることができ、迷惑メールと判定されるリスク要因や、その改善策を確認することができます。DMARC 分析機能も備えており、DMARC レポートの可視化や解析、送信元 IP アドレス管理など、組織のメール送信環境を統合的に管理することができます。

■ Web サイト

迷惑メールスコアリング

<https://baremail.jp/mailscore/top/>

ベアメールについて

ベアメールは「メールを確実に届ける」ことを支援するサービスとして、メールの高速配信・到達率の改善を実現する「メールリレーサービス」と、迷惑メールになる可能性や原因を診断する「迷惑メールスコアリング」を提供しています。お客様の環境や状況に応じて2つのサービスを組み合わせることで、メール配信に関する運用の手間を低減し、到達率の改善を実現します。

サービスの詳細は、<https://baremail.jp/> をご覧ください。

株式会社リンクについて

株式会社リンクは、業界最大級の稼動台数を持つ専用ホスティング「at+link」、クラウド型ホスティング「リンク・ベアメタルクラウド」を軸として、9年連続シェア第1位のクラウド型コールセンターシステム「BIZTEL」、セキュリティプラットフォームサービス「PCI DSS Ready Cloud」など、さまざまなサブスクリプション型サービスを提供しています。農系事業にも取り組んでおり、2011年10月からは岩手県岩泉町にある自然放牧酪農場「なかほら牧場」を運営しています。事業の詳細は、<https://www.link.co.jp/> をご覧ください。

★リンクが運営するメディアサイト

「最適なサービスで一歩先行く組織へ」 ビジネスに伴走する課題解決メディア『LINK Watch!』

<https://watch.link.co.jp/>